

在宅医療進行シート（2018年度から2020年度）

- ・大阪府内全域で地域包括ケアシステム構築に向けた医療提供体制の推進をするため、圏域ごとに「在宅医療進行シート」を作成し府に提出することになりました。
- ・別紙「医療計画（圏域版）」に基づく地域包括ケアシステムの構築に向けた在宅医療の推進【豊能圏域】及び平成29年度に貴市・町からご提出いただいた「在宅医療懇話会検討テーマ整理シート」を参考に、中間年の2020年までの年度ごとの目標と取組みをご記入ください。

【2020年の到達イメージ】豊能圏域版	【到達イメージの実現に必要な作業】	2018年度の目標と取組み	2019年度の目標と取組み	2020年度の目標と取組み	
<p>●後方支援体制の整備の支援</p> <p>安定した在宅医療を提供するため、病院を中心とした関係機関同士の連携会議等で、中核的な病院が在宅医療後方支援病院となるよう後方支援体制を整備する等の取組みを支援します。</p>	<p>「豊中市地域医療推進基本方針」に挙げられている病院の役割「後方支援・受入体制の確保」の達成を支援するために地域医療推進会議等で年1回以上話し合いを行う。</p> <p>在宅医療に関する市民啓発で、後方支援体制について説明し、理解してもらう。</p>	<p>【目標】</p> <p>地域医療推進会議において後方支援体制の課題を共有する</p> <p>⇒【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療推進会議で後方支援体制の整備について検討した。本市は、(仮称)サブアキュートマッチングシステム：豊中モデルを提案した。 <p>・看取りに関する市民講座で、後方支援体制の説明をすることを検討した。「シニアの人へ、幸せな人生最期を迎えるための準備講座－医療編－」の出前講座を始めた。</p>	<p>【目標】</p> <p>地域医療推進会議において、(仮称)サブアキュートマッチングシステム：豊中モデル（以下「当該システム」）を構築し、後方支援体制の課題解決に取り組む。</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該システムについて市内の在宅療養支援診療所に向けて説明会を行い、参加診療所に対してアンケートを行う。 ・サブアキュート機能の病院の空床状況がわかる情報提供の構築に向けて検討する。 ・当該システムを活用しやすいシステムにするために病院と診療所との意見交換を行う。 	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p>	<p>【指標】</p>
<p>●入退院時における関係機関のスムーズな連携</p> <p>入退院時において関係機関とのスムーズな連携を図るため、情報共有の取組みを支援します。</p>	<p>「虹ねっと連絡会」の入退院支援ワーキンググループで作成した豊中版の入退院時情報連携シートや退院前カンファレンス確認事項用紙などを試用している。診療報酬に反映でき、なおかつ使いやすいシートの作成と普及に努める。</p>	<p>【目標】</p> <p>主に、在宅のケアマネジャーを対象に連携シート活用を普及する</p> <p>⇒【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11/15に市立豊中病院にて、病院担当者とCMとの意見交換会を行った。 ・入院時情報連携シートの見直し ・普及率調査アンケートの作成と実施 	<p>【目標】</p> <p>施設のケアマネジャーへ連携シート活用を普及する</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月に病院担当者とケアマネジャーとの意見交換会開催予定 	<p>【目標】</p> <p>地域での情報連携シートの普及率を確認する。</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p>	<p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CM向けアンケート調査 ・病院担当者向けアンケート調査
<p>●在宅医療関係者の行政の会議への参画</p> <p>関係機関の連携体制を構築するため、在宅医療に従事している関係者が市町の連携会議等に参画できるよう、保健所が橋渡し役になり進めていきます。</p>	<p>医療関係者や行政をメンバーとした地域医療推進会議を年3回開催している。会議のうち1回は在宅医療について議論している。</p> <p>医療・介護の連携を目的とした会議「虹ねっと連絡会」が関係団体の自主的活動で運営されており、市として支援している。</p>	<p>【目標】</p> <p>(既に実施している)</p> <p>⇒【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12/11、「在宅医療」をテーマに地域医療推進会議を開催した。 ・「虹ねっと連絡会」は関係団体の自主的活動で運営し、2回/年開催した。 	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「在宅医療」をテーマにした地域医療推進会議は年1回以上開催予定 ・「虹ねっと連絡会」はこれまでどおり開催予定。市は活動を支援していく。 	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p>	<p>【指標】</p>

【2020年の到達イメージ】豊能圏域版		【到達イメージの実現に必要な作業】	2018年度の目標と取組み	2019年度の目標と取組み	2020年度の目標と取組み	
<p>●薬局ネットワーク化の推進</p> <p>24時間365日の在宅医療推進のための薬剤師会を中心とした薬局ネットワーク化の取組みを支援します。</p>	→	<p>薬剤師会において、会員に向けてICT「虹ねっとcom」への加入を促し情報共有・連携を促進する。</p>	<p>【目標】 「虹ねっとcom」への薬剤師会会員の加入者数増加</p> <p>⇒【実施結果】 ・「虹ねっとcom」説明会への薬剤師会会員の参加</p>	<p>【目標】 「虹ねっとcom」の利用による在宅医療への関わりの増加</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <p>-----▶</p> <p>・「虹ねっとcom」内の薬剤師会のコミュニティを活用し、連携の促進を図る。</p> <p>-----▶</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p>	<p>【指標】</p>
<p>●住民の生活圏を考慮した広域連携の構築</p> <p>住民の生活圏を考慮し、府外の医療機関との広域連携の構築に努めます。</p>	→	<p>ICT「虹ねっとcom」の利用を推進・拡充する。⇒医療・介護のコミュニケーションツールとして利用を広げることによって広域連携の構築を推進する。</p>	<p>【目標】 「虹ねっとcom」のPR</p> <p>⇒【実施結果】 ・医師会を中心に、他県・他市町との会議等で利便性を説明。</p>	<p>【目標】 市域・圏域・府域を超えた「虹ねっとcom」利用の運用ルールの検討</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・虹ねっと連絡会のWGにおいて、セキュリティ研修を開催する。 ・行政も利活用できるようにネット環境を整える。</p>	<p>【目標】 市域・圏域・府域を超えた「虹ねっとcom」利用</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・虹ねっと連絡会のWGにおいてルールを策定</p>	<p>【指標】 ・「虹ねっとcom」の市外利用者の数</p>
		<p>その他、あればお書きください</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施結果】</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p>	<p>【指標】</p>

在宅医療進行シート（2018年度から2020年度）

市・町名 吹田市

- ・大阪府内全域で地域包括ケアシステム構築に向けた医療提供体制の推進をするため、圏域ごとに「在宅医療進行シート」を作成し府に提出することになりました。
- ・別紙「医療計画（圏域版）」に基づく地域包括ケアシステムの構築に向けた在宅医療の推進【豊能圏域】及び平成29年度に貴市・町からご提出いただいた「在宅医療懇話会検討テーマ整理シート」を参考に、中間年の2020年までの年度ごとの目標と取組みをご記入ください。

【2020年の到達イメージ】豊能圏域版	【到達イメージの実現に必要な作業】	2018年度の目標と取組み	2019年度の目標と取組み	2020年度の目標と取組み	
<p>●後方支援体制の整備の支援</p> <p>安定した在宅医療を提供するため、病院を中心とした関係機関同士の連携会議等で、中核的な病院が在宅医療後方支援病院となるよう後方支援体制を整備する等の取組みを支援します。</p>	<p>回復期・慢性期病院のポストアキュート及びサブアキュート患者の受入れ態勢を強化するために、急性期病院からの医療と看護のスキル提供を介した病病連携のしくみを作り、結果として、急性期病院の入院患者の滞留を防ぎ急変時の受入れを確保するとともに、回復期・慢性期病院のサブアキュート受入れ機能も高める。</p> <p>↓ (2019年修正) 急性期病院の入院患者の滞留を防ぎ急変時の受入れを確保するとともに、回復期・慢性期病院のサブアキュート受入れ機能も高めるために、病院間の情報交換の機会を設定する。</p>	<p>【目標】 医療と看護のスキル提供を介した病病連携のしくみができる。</p> <p>⇒【実施内容】 ・改めて回復期・慢性期病床を持つ病院へのヒアリング等を行い、医療や看護のスキル提供という方法ではなく、情報交換の機会を求める声が多かったことから、病院間の効果的な情報交換のあり方について検討した ・病院の医師及び病棟看護師、連携室職員等を対象に、在宅医療についての理解促進のための研修会を実施し、それに合わせて病院間の情報交換の機会を設定した。</p>	<p>【目標】 病院間の情報交換の機会を設定することで、病病連携が促進する。</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・病院の医師及び病棟看護師、連携室職員等を対象に、在宅医療についての理解促進のための研修会を実施し、それに合わせて病院間の情報交換の機会を設定する（10月頃予定）。</p>	<p>【目標】 病院間の情報交換の機会を設定することで、病病連携が促進する。</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・病院の医師及び病棟看護師、連携室職員等を対象に、在宅医療についての理解促進のための研修会を実施し、それに合わせて病院間の情報交換の機会を設定する。</p>	<p>【指標】</p>
<p>●入退院時における関係機関のスムーズな連携</p> <p>入退院時において関係機関とのスムーズな連携を図るため、情報共有の取組みを支援します。</p>	<p>吹田市版入退院支援ツールを医療機関、居宅介護支援事業所等が活用することで、入退院時の連携が進み、切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制が構築される。</p> <p>多職種連携研修等により、顔の見える関係づくりを行う。</p> <p>すいた年輪サポートナビ、吹田市ケア倶楽部による、医療機関情報、介護サービス情報の共有を行う。</p>	<p>【目標】 吹田市版入退院支援ツールの作成 すいた年輪サポートナビ、吹田市ケア倶楽部の活用</p> <p>⇒【実施内容】 ・これまでに作成した「利用者情報提供書」、「介護保険の居宅サービスを利用される方の入院から退院までの支援フロー図」「退院時カンファレンスチェックシート」等について、「大阪府入退院支援の手引き」を活用し、見直しを行った。 吹田市ケア倶楽部への登録を事業所に働きかけた。</p>	<p>【目標】 吹田市版入退院支援ツールの周知、運用 「大阪府入退院支援の手引き」の普及</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、病院等に周知し、活用を進める。 ・多職種連携研修会において、「大阪府入退院支援の手引き」を活用し「退院支援」をテーマに2回開催予定。 吹田市ケア倶楽部への登録を事業所に働きかける。</p>	<p>【目標】 吹田市版入退院支援ツールの周知、運用 「大阪府入退院支援の手引き」の普及</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、病院等に周知し、活用を進める。 吹田市ケア倶楽部への登録を事業所に働きかける。</p>	<p>【指標】 入院時情報連携加算、退院・退所加算を算定する居宅介護支援事業所の増加 入退院支援加算、介護支援等連携指導料を算定する医療機関の増加</p>
<p>●在宅医療関係者の行政の会議への参画</p> <p>関係機関の連携体制を構築するため、在宅医療に従事している関係者が市町の連携会議等に参画できるよう、保健所が橋渡し役になり進めていきます。</p>	<p>在宅医療推進の環境づくりを主なテーマとしている「地域医療推進懇談会（作業部会含む）」において、議論に必要な医療関係者を適宜会議の構成員や臨時委員等に位置付けて検討する。</p> <p>また、在宅医療を中心に提供されている医療機関との関係づくりに努める</p>	<p>【目標】 作業部会の委員依頼や市民講演会の講師依頼等の機会をとらえて、様々な医療関係者との関係構築に努める</p> <p>⇒【実施内容】 ・作業部会委員依頼に際して、丁寧な（事前）ヒアリング等の実施 ・在宅医療中心に提供されている医療機関への講師依頼</p>	<p>【目標】 作業部会の委員依頼や市民講演会の講師依頼等の機会をとらえて、様々な医療関係者との関係構築に努める</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・作業部会委員依頼に際して、丁寧な（事前）ヒアリング等の実施 ・在宅医療中心に提供されている医療機関への講師依頼</p>	<p>【目標】 作業部会の委員依頼や市民講演会の講師依頼等の機会をとらえて、様々な医療関係者との関係構築に努める</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・作業部会委員依頼に際して、丁寧な（事前）ヒアリング等の実施 ・在宅医療中心に提供されている医療機関への講師依頼</p>	<p>【指標】</p>

<p>●薬局ネットワーク化の推進</p> <p>24時間365日の在宅医療推進のための薬剤師会を中心とした薬局ネットワーク化の取組みを支援します。</p>	→	<p>薬局の24時間365日のネットワーク化の必要性やその他の課題の有無について、薬剤師会を中心に引き続き協議をしていく。</p>	<p>【目標】 地域医療推進懇談会等において、在宅薬剤管理指導等の充実に向けた議論を行う。</p> <p>⇒【実施内容】 ・地域医療推進懇談会にて、薬剤師会における在宅薬剤管理指導の充実等に関する取組状況や課題等について報告をいただいた</p>	<p>【目標】 地域医療推進懇談会等において、在宅薬剤管理指導等の充実に向けた議論を行う。</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・地域医療推進懇談会にて、薬剤師会における在宅薬剤管理指導の充実等に関する取組状況や課題等について報告をいただく</p>	<p>【目標】 地域医療推進懇談会等において、在宅薬剤管理指導等の充実に向けた議論を行う。</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・地域医療推進懇談会にて、薬剤師会における在宅薬剤管理指導の充実等に関する取組状況や課題等について報告をいただく</p>	【指標】
---	---	---	--	---	---	------

【2020年の到達イメージ】豊能圏域版	【到達イメージの実現に必要な作業】	2018年度の目標と取組み	2019年度の目標と取組み	2020年度の目標と取組み	
<p>●住民の生活圏を考慮した広域連携の構築</p> <p>住民の生活圏を考慮し、府外の医療機関との広域連携の構築に努めます、</p>		<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・</p>	【指標】
	<p>訪問看護について小規模で経験の浅い事業所が多いことや人材不足等のために、活動の時間帯や範囲に制約や負担があること、また、病院看護師等の在宅医療への理解促進や入退院支援の充実の必要等の課題に対して、訪問看護と病院看護師の連携促進等により、継続性のある看護の提供や事業所の人材確保等につなげる</p>	<p>【目標】 訪問看護及び病院の看護等に関する課題の抽出と具体策の詳細について検討する</p> <p>⇒【実施内容】 ・作業部会を開催し、訪問看護の人材確保策や事業所間及び病院看護師等との連携についての具体策の検討を開始した。(病院看護師の訪問看護事業所への出向のしくみの検討、病院看護師と訪問看護師の相互理解と看護の連携促進のための取組等の検討)</p>	<p>【目標】 訪問看護と病院看護師の連携の場の設定</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 (仮称)看看連携促進連絡会の開催にむけ、調整を行う。</p>	<p>【目標】 訪問看護と病院看護師の連携の場の設定</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 (仮称)看看連携促進連絡会を開催する。</p>	【指標】
	<p>病院の病床機能やかかりつけ医について、また在宅療養という選択肢について、最期の迎え方等についての市民啓発や情報提供</p>	<p>【目標】 在宅医療の具体的内容についての理解促進と在宅療養という選択肢についての情報提供を行う</p> <p>⇒【実施内容】 市民対象の講演会の実施(7/14済)</p>	<p>【目標】 在宅医療の具体的内容についての理解促進と在宅療養という選択肢についての情報提供を行う</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 地域医療推進懇談会作業部会及び在宅医療介護連携推進協議会作業部会において、ACPに関する市民向け啓発媒体等の作成を行う 看取りに関する市民講演会の実施(2月頃予定)</p>	<p>【目標】 在宅医療の具体的内容についての理解促進と在宅療養という選択肢についての情報提供を行う</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・市民講演会の実施(市民啓発は、毎年テーマを設定して継続)</p>	【指標】
	<p>摂食嚥下機能へのサポートとして、歯科医師会を中心に、病院医師や看護師、医師会・薬剤師会・訪問看護等との連携を図る。</p>	<p>【目標】 歯科医師会により、摂食嚥下における歯科医の役割や機能等についての医療関係者への周知により、予防的段階から介入する体制を作る</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 歯科医師会での専門チームの設置 歯科医師会による病院医師や看護師、医師会・薬剤師会・訪問看護等への周知</p>	<p>【目標】 歯科医師会により、摂食嚥下における歯科医の役割や機能等についての医療関係者への周知により、予防的段階から介入する体制を作る</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 歯科医師会での専門チームの設置 歯科医師会による病院医師や看護師、医師会・薬剤師会・訪問看護等への周知</p>	<p>【目標】 歯科医師会により、摂食嚥下における歯科医の役割や機能等についての医療関係者への周知により、予防的段階から介入する体制を作る</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 歯科医師会での専門チームの設置 歯科医師会による病院医師や看護師、医師会・薬剤師会・訪問看護等への周知</p>	【指標】

<p>在宅医療や在宅療養、在宅看取り等について、医療関係者の知識や理解、技術の向上</p>	<p>【目標】 病院独自での研修等を主体的に実施する病院が増えるよう、当面3年間、市主催による研修会を開催する。</p> <p>⇒【実施内容】 在宅医療・在宅療養の実際について、また在宅への円滑な移行のためのアセスメントの視点や必要な支援・連携について、病院職員（医師・看護師等）対象の研修会を実施（3/16実施）</p>	<p>【目標】 病院独自での研修等を主体的に実施する病院が増えるよう、当面3年間、市主催による研修会を開催する。</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 在宅医療・在宅療養の実際について、また在宅への円滑な移行のためのアセスメントの視点や必要な支援・連携について、病院職員（医師・看護師等）対象の研修会を実施（10月頃予定）</p>	<p>【目標】 病院独自での研修等を主体的に実施する病院が増えるよう、当面3年間、市主催による研修会を開催する。</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 在宅医療・在宅療養の実際について、また在宅への円滑な移行のためのアセスメントの視点や必要な支援・連携について、病院職員（医師・看護師等）対象の研修会を実施 ・病院独自での研修会等の取組実態について把握する</p>	<p>【指標】</p>
---	---	---	--	-------------

在宅医療進行シート（2018年度から2020年度）

市・町名 池田市

- ・大阪府内全域で地域包括ケアシステム構築に向けた医療提供体制の推進をするため、圏域ごとに「在宅医療進行シート」を作成し府に提出することになりました。
- ・別紙「医療計画（圏域版）」に基づく地域包括ケアシステムの構築に向けた在宅医療の推進【豊能圏域】及び平成29年度に貴市・町からご提出いただいた「在宅医療懇話会検討テーマ整理シート」を参考に、中間年の2020年までの年度ごとの目標と取組みをご記入ください。

【2020年の到達イメージ】豊能圏域版	【到達イメージの実現に必要な作業】	2018年度の目標と取組み	2019年度の目標と取組み	2020年度の目標と取組み	
<p>●後方支援体制の整備の支援</p> <p>安定した在宅医療を提供するため、病院を中心とした関係機関同士の連携会議等で、中核的な病院が在宅医療後方支援病院となるよう後方支援体制を整備する等の取組みを支援します。</p>	<p>市立池田病院・医師会・訪問看護等在宅医療の関係者と連携し、後方支援システム作りが行え、在宅医療が提供できる体制が整う。</p>	<p>【目標】 市内の在宅医療機関との連携の構築</p> <p>⇒【実施結果】 ①人生の最終段階における医療・ケア検討会で抽出された課題の共有 ②課題の把握、検討を実施（7/2, 10/29, 2/18）</p>	<p>【目標】 在宅医療を担う職種との連携強化</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ①施設における看取りの実態調査を行い、看取りの場の拡大を図る。 ②医師会との連携を図り、在宅での見取りを推進する。</p>	<p>【目標】 在宅医療を担う職種との連携強化</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ①施設における看取りの実態調査を行い、看取りの場の拡大を図る。 ②医師会との連携を図り、在宅での見取りを推進する。</p>	<p>【指標】 ・在宅医療に対応する診療所の増加 ・診療所等への後方支援の体制の整備</p>
<p>●入退院時における関係機関のスムーズな連携</p> <p>入退院時において関係機関とのスムーズな連携を図るため、情報共有の取組みを支援します。</p>	<p>入退院支援に関するルールを作成することにより、よりスムーズに情報共有ができ、医療・薬剤・介護・リハビリの多職種連携の下、継続的な医療提供体制が確保できる。</p>	<p>【目標】 退院支援に関するルールの作成</p> <p>⇒【実施結果】 ①医療・介護関係者の情報共有の場として「入退院支援検討会」会議を開催。意見交換を通し、課題の抽出と整理を行った。 （6/13, 9/12, 12/12, 3/13） ②「大阪府入退院支援の手引き」の様式を参考に情報共有のルールを作成。</p>	<p>【目標】 ガイドラインの作成</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ①問題点と課題の整理と対応策の検討 ②多職種による意思決定支援を推進するためカンファレンス開催のフローの整理</p>	<p>【目標】 ガイドラインの作成</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ①問題点と課題の整理と対応策の検討 ②多職種による意思決定支援を推進するためカンファレンス開催のフローの整理</p>	<p>【指標】 ・医療機関とケアマネ連携数の増加 ・入退院カンファレンス数の増加</p>
<p>●在宅医療関係者の行政の会議への参画</p> <p>関係機関の連携体制を構築するため、在宅医療に従事している関係者が市町の連携会議等に参画できるよう、保健所が橋渡し役になり進めていきます。</p>	<p>中核病院となる市立池田病院を軸として、医療介護の関係職種・機関がEOLケア・ACPをテーマに検討会を開催することにより、共通の認識を持って在宅医療の提供が行える。</p>	<p>【目標】 EOLケアの普及・ACPの推進に関する課題の抽出</p> <p>⇒【実施結果】 ①EOLケア勉強会（多職種）開催（11/14） ②介護職EOLケアプランナー交流会の開催（7/2, 10/22, 2/4） ③ACP推進プロジェクトチームによる意見交換会開催（12/10）池田市版事前指示書を作成し、啓蒙活動実施（市民対象2回、専門職対象3回）</p>	<p>【目標】 EOLケアの普及・ACPを推進するためのネットワークの構築</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ①地域に対しEOLケア勉強会（市民向）開催 ②介護職EOLケアプランナー交流会の継続 ③ACP推進プロジェクトチームをEOLケア推進プロジェクトチームに発展</p>	<p>【目標】 EOLケアの普及・ACPを推進するためのネットワークの構築</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ①地域に対しEOLケア勉強会（市民向）開催 ②介護職EOLケアプランナー交流会の継続 ③ACP推進プロジェクトチームをEOLケア推進プロジェクトチームに発展</p>	<p>【指標】 ・会議開催数、参加関係機関数</p>
<p>●薬局ネットワーク化の推進</p> <p>24時間365日の在宅医療推進のための薬剤師会を中心とした薬局ネットワーク化の取組みを支援します。</p>	<p>薬剤師会を軸とした、市内薬局とFAXでの情報共有・勉強会（月1回）・ケア会議の開催等、現状の充実に加え、医療・介護連携とも進捗を合わせることで、切れ目のない地域医療体制を構築する。</p>	<p>【目標】 医会連携の中での課題の抽出。</p> <p>⇒【実施結果】 退院支援検討会に参加し、ポリファーマシー対策・入退院での薬剤の断絶の予防・かかりつけ医との連携について検討。「入退院支援検討会」会議を開催。 （6/13, 9/12, 12/12, 3/13）</p>	<p>【目標】 薬剤師会との連携強化</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ①研修会や事例検討会等を通じ、地域薬局との連携を強化する。 ②在宅のかかりつけ薬剤師の構築を検討</p>	<p>【目標】 薬剤師会との連携強化</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ①連携の課題の抽出と解決方法の検討。 ②在宅のかかりつけ薬剤師の構築を検討</p>	<p>【指標】 ・入退院前後のスムーズな薬剤管理数の増加 ・かかりつけ医と薬剤師の連携</p>

【2020年の到達イメージ】豊能圏域版	【到達イメージの実現に必要な作業】	2018年度の目標と取組み	2019年度の目標と取組み	2020年度の目標と取組み	
<p>●住民の生活圏を考慮した広域連携の構築</p> <p>住民の生活圏を考慮し、府外の医療機関との広域連携の構築に努めます、</p>	<p>隣接市である兵庫県川西市の医療機関との広域連携が行える。従前より市立池田病院主催で開催している「地域医療連携推進委員会」では川西市と連携できており、内容の充実を図る。</p>	<p>【目標】 地域医療連携推進委員会を開催し、川西市・豊能町と情報を共有</p> <p>⇒【実施結果】 ・地域医療連携推進委員会を開催(6/7,9/13,12/6,3/14)</p>	<p>【目標】 地域医療連携推進委員会を開催し、川西市・豊能町と情報を共有</p> <p>⇒【実施(内容)】 地域医療連携推進委員会を開催</p>	<p>【目標】 地域医療連携推進委員会を開催し、川西市・豊能町と情報を共有</p> <p>⇒【実施(内容)】 地域医療連携推進委員会を開催</p>	<p>【指標】 ・会議開催数</p>
	<p>その他、あればお書きください</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施結果】</p> <p>特になし</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定(内容)】</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定(内容)】</p>	<p>【指標】</p>

在宅医療進行シート（2018年度から2020年度）

市・町名 箕面市

- ・大阪府内全域で地域包括ケアシステム構築に向けた医療提供体制の推進をするため、圏域ごとに「在宅医療進行シート」を作成し府に提出することになりました。
- ・別紙「医療計画（圏域版）」に基づく地域包括ケアシステムの構築に向けた在宅医療の推進【豊能圏域】及び平成29年度に貴市・町からご提出いただいた「在宅医療懇話会検討テーマ整理シート」を参考に、中間年の2020年までの年度ごとの目標と取組みをご記入ください。

【2020年の到達イメージ】豊能圏域版	【到達イメージの実現に必要な作業】	2018年度の目標と取組み	2019年度の目標と取組み	2020年度の目標と取組み	
<p>●後方支援体制の整備の支援</p> <p>安定した在宅医療を提供するため、病院を中心とした関係機関同士の連携会議等で、中核的な病院が在宅医療後方支援病院となるよう後方支援体制を整備する等の取組みを支援します。</p>	⇒医師会を中心とした関係機関同士の連携会議等で、中核的な病院が在宅医療後方支援病院となるよう後方支援体制を整備する。	<p>【目標】</p> <p>在宅医療後方支援病院と医師会の連携状況を把握する。</p> <p>⇒【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療推進事業運営委員会(医師会主催)にて情報収集する。 ・多職種連携研修会にて後送病院から情報提供を受けた。 	<p>【目標】</p> <p>在宅医療後方支援病院と医師会の連携状況を把握する。</p> <p>⇒【実施予定(内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療推進事業運営委員会(医師会主催)にて情報収集する。 	<p>【目標】</p> <p>在宅医療後方支援病院と医師会の連携状況を把握する。</p> <p>⇒【実施予定(内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療推進事業運営委員会(医師会主催)にて情報収集する。 	<p>【指標】</p> <p>在宅医療後方支援病院と医師会の連携体制の情報を把握する。</p>
<p>●入退院時における関係機関のスムーズな連携</p> <p>入退院時において関係機関とのスムーズな連携を図るため、情報共有の取組みを支援します。</p>	⇒入退院時に、病院側と地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、介護サービス事業所側がスムーズなやり取りが可能になり、特に退院直後に、介護サービスの空白期間ができないよう、医療と介護の切れ目のないサービス提供ができています。	<p>【目標】</p> <p>各病院で活用している入退院時の情報連絡のための「情報連携シート」の活用について把握する。</p> <p>⇒【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の病院が活用している「情報連携シート」についての情報収集をする。 ・箕面市立病院を中心に作成された「入院・入所情報提供書」により、入退院時関係機関による連携が実施されている。 	<p>【目標】</p> <p>「情報連携シート」を活用した入退院支援の流れを各関係機関に周知して活用方法の検討をする。</p> <p>⇒【実施予定(内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携研修会において、病院の退院支援について学び、各関係機関と情報共有し、活用方法を検討する。 	<p>【目標】</p> <p>入退院時のやり取りがスムーズになるよう「情報連携シート」の活用が推進される。</p> <p>⇒【実施予定(内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携研修会において、各病院や関係機関が「情報連携シート」を活用した経過を報告して、今後の連携について検討する。 	<p>【指標】</p> <p>「情報連携シート」を活用した連携数が増加する。</p>
<p>●在宅医療関係者の行政の会議への参画</p> <p>関係機関の連携体制を構築するため、在宅医療に従事している関係者が市町の連携会議等に参画できるよう、保健所が橋渡し役になり進めていきます。</p>	⇒関係機関の連携体制を構築するため、在宅医療に従事している関係者が市町の連携会議等に参画し、在宅医療の現状把握に努め、課題の解決方法を検討する。	<p>【目標】</p> <p>市が開催する会議に在宅医療関係者が参画し、現状把握に努め、課題の解決方法を検討する。</p> <p>⇒【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉医療総合審議会、サービス評価専門員会議、認知症施策推進会議に関係者が出席し、現状把握と課題抽出を行う。 ・各会議において、介護保険・認知症施策等の課題抽出と対応策を検討した。 	<p>【目標】</p> <p>市が開催する会議に在宅医療関係者が参画し、現状把握に努め、課題の解決方法を検討する。</p> <p>⇒【実施予定(内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉医療総合審議会、サービス評価専門員会議、認知症施策推進会議に関係者が出席し、現状把握と課題抽出を行う。 	<p>【目標】</p> <p>市が開催する会議に在宅医療関係者が参画し、現状把握に努め、課題の解決方法を検討する。</p> <p>⇒【実施予定(内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健福祉医療総合審議会、サービス評価専門員会議、認知症施策推進会議に関係者が出席し、現状把握と課題抽出を行う。 	<p>【指標】</p> <p>市が開催する会議に在宅医療関係者が継続的に参加し、在宅医療の課題や解決方法を共有できる。</p>
<p>●薬局ネットワーク化の推進</p> <p>24時間365日の在宅医療推進のための薬剤師会を中心とした薬局ネットワーク化の取組みを支援します。</p>	⇒24時間365日の在宅医療推進のための薬剤師会を中心とした薬局ネットワーク化の取組みの情報収集を行う。	<p>【目標】</p> <p>薬剤師会における薬局ネットワークの取組を把握する。</p> <p>⇒【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師会から情報収集を行う。 ・様々な連携会議に薬剤師会長が出席し、連携方法を検討中。 	<p>【目標】</p> <p>薬剤師会における薬局ネットワークの取組の進捗状況を把握する。</p> <p>⇒【実施予定(内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師会から情報収集を行う。 	<p>【目標】</p> <p>薬剤師会における薬局ネットワークの取組の進捗状況を把握する。</p> <p>⇒【実施予定(内容)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師会から情報収集を行う。 	<p>【指標】</p> <p>薬局ネットワークの取組を把握する。</p>

【2020年の到達イメージ】豊能圏域版	【到達イメージの実現に必要な作業】	2018年度の目標と取組み	2019年度の目標と取組み	2020年度の目標と取組み	
<p>●住民の生活圏を考慮した広域連携の構築</p> <p>住民の生活圏を考慮し、府外の医療機関との広域連携の構築に努めます、</p>	<p>⇒住民の生活圏を考慮し、府外の医療機関との広域連携の構築に努めます。</p>	<p>【目標】 府外の医療機関との連携について、在宅医療後方支援病院としての連携体制を把握する。</p> <p>⇒【実施結果】 ・在宅医療推進事業運営委員会(医師会主催)にて情報収集する。 ・多職種連携研修会にて後送病院から情報提供を受けた。</p>	<p>【目標】 府外の医療機関との連携について、在宅医療後方支援病院としての連携体制の進捗状況を把握する。</p> <p>⇒【実施予定(内容)】 ・在宅医療推進事業運営委員会(医師会主催)にて情報収集する。</p>	<p>【目標】 府外の医療機関との連携について、在宅医療後方支援病院としての連携体制の進捗状況を把握する。</p> <p>⇒【実施予定(内容)】 ・在宅医療推進事業運営委員会(医師会主催)にて情報収集する。</p>	<p>【指標】 府外の医療機関との連携について、医師会と在宅医療後方支援病院としての連携体制について情報収集する。</p>
	<p>その他、あればお書きください</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定(内容)】</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定(内容)】</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定(内容)】</p>	<p>【指標】</p>

在宅医療進行シート（2018年度から2020年度）

市・町名 豊能町

- ・大阪府内全域で地域包括ケアシステム構築に向けた医療提供体制の推進をするため、圏域ごとに「在宅医療進行シート」を作成し府に提出することになりました。
- ・別紙「医療計画（圏域版）」に基づく地域包括ケアシステムの構築に向けた在宅医療の推進【豊能圏域】及び平成29年度に貴市・町からご提出いただいた「在宅医療懇話会検討テーマ整理シート」を参考に、中間年の2020年までの年度ごとの目標と取組みをご記入ください。

【2020年の到達イメージ】豊能圏域版	【到達イメージの実現に必要な作業】	2018年度の目標と取組み	2019年度の目標と取組み	2020年度の目標と取組み	
<p>●後方支援体制の整備の支援</p> <p>安定した在宅医療を提供するため、病院を中心とした関係機関同士の連携会議等で、中核的な病院が在宅医療後方支援病院となるよう後方支援体制を整備する等の取組みを支援します。</p>	→	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町の在宅医療機関との連携構築について検討。 	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町や病院と後方支援体制について協議の場の設定を行う。 	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議において後方支援体制の整備について協議を進める。 	<p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後方支援システムの策定
<p>●入退院時における関係機関のスムーズな連携</p> <p>入退院時において関係機関とのスムーズな連携を図るため、情報共有の取組みを支援します。</p>	→	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に包括支援センターが医療機関との連携窓口となり、切れ目のない個別支援体制の構築について検討。 ・事業所連絡会等での連携に関する情報の提供。 	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域での連絡ツールの共有の検討。 	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域での連絡ツールの共有。 	<p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊能圏域版の連携ツールが完成している
<p>●在宅医療関係者の行政の会議への参画</p> <p>関係機関の連携体制を構築するため、在宅医療に従事している関係者が市町の連携会議等に参画できるよう、保健所が橋渡し役になり進めていきます。</p>	→	<p>【目標】</p> <p>在宅医療介護連携の必要性の検討</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療対策協議会での在宅医療従事機関の参加を検討。 	<p>【目標】</p> <p>在宅医療介護連携の課題の共有</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療対策協議会での在宅医療従事関係機関の参加の調整。 ・地域包括運営協議会で課題共有。 	<p>【目標】</p> <p>在宅医療介護連携の強化</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療対策協議会・包括運営協議会での議題として在宅医療介護連携を上げる。 	<p>【指標】</p> <p>医療対策協議会・運営協議会に議題として在宅医療介護連携が含まれている。</p>
<p>●薬局ネットワーク化の推進</p> <p>24時間365日の在宅医療推進のための薬剤師会を中心とした薬局ネットワーク化の取組みを支援します。</p>	→	<p>【目標】</p> <p>地域薬局との連携検討</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に個別支援での連携構築。 	<p>【目標】</p> <p>地域薬局との連携強化</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営協議会で在宅医療介護連携の課題等検討 ・日常的に個別支援での連携の構築を目指す。 	<p>【目標】</p> <p>地域薬局との連携強化</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤師会を中心とした地域薬局とのネットワーク強化。 	<p>【指標】</p> <p>町内3か所の薬局との連携がスムーズに行われている</p>

<p>【2020年の到達イメージ】豊能圏域版</p>	<p>【到達イメージの実現に必要な作業】</p>				
<p>●住民の生活圏を考慮した広域連携の構築</p> <p>住民の生活圏を考慮し、府外の医療機関との広域連携の構築に努めます、</p>	<p>●本町及び池田、川西、猪名川町を含めた医療機関、介護の資源の把握と連携の構築。</p>	<p>【目標】 広域連携のための資源の把握 住民への啓発</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・相談業務や出前講座などで、かかりつけ医制度の啓発。</p>	<p>【目標】 周辺市町を含めた広域連携の構築</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・府外医療機関を含めた連携強化のため包括が窓口となり個別支援体制の構築。</p>	<p>【目標】 周辺市町を含めた広域連携の構築</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・住民の生活圏を考慮し、周辺市町を含めた広域連携の強化。</p>	<p>【指標】 ・住民が大病院だけでなくかかりつけ医を持っている</p>
	<p>その他、あればお書きください</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p>	<p>【指標】</p>

在宅医療進行シート（2018年度から2020年度）

市・町名 能勢町

- ・大阪府内全域で地域包括ケアシステム構築に向けた医療提供体制の推進をするため、圏域ごとに「在宅医療進行シート」を作成し府に提出することになりました。
- ・別紙「医療計画（圏域版）」に基づく地域包括ケアシステムの構築に向けた在宅医療の推進【豊能圏域】及び平成29年度に貴市・町からご提出いただいた「在宅医療懇話会検討テーマ整理シート」を参考に、中間年の2020年までの年度ごとの目標と取組みをご記入ください。

【2020年の到達イメージ】豊能圏域版	【到達イメージの実現に必要な作業】	2018年度の目標と取組み	2019年度の目標と取組み	2020年度の目標と取組み	
<p>●後方支援体制の整備の支援</p> <p>安定した在宅医療を提供するため、病院を中心とした関係機関同士の連携会議等で、中核的な病院が在宅医療後方支援病院となるよう後方支援体制を整備する等の取組みを支援します。</p>	<p>町内には中核的な病院がないため、近隣市の病院に在宅医療後方支援病院を担ってもらう。</p>	<p>【目標】 参画している地域医療連携推進協議会で地域の医療現状の把握</p> <p>⇒【実施結果】 ・地域医療連携推進協議会に定期的に参画し、情報交換を行った。</p>	<p>【目標】 近隣市町や病院地域医療連携室と在宅医療後方支援病院について議論</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・近隣市町との協議の場の設定</p>	<p>【目標】 参画している地域医療連携推進協議会で在宅医療後方支援病院について協議</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・地域医療連携推進協議会の場で協議</p>	<p>【指標】 在宅医療後方支援体制の確立</p>
<p>●入退院時における関係機関のスムーズな連携</p> <p>入退院時において関係機関とのスムーズな連携を図るため、情報共有の取組みを支援します。</p>	<p>在宅医療後方支援病院、関係市町とともに、大阪府入退院支援の手引きも参考にしつつ、後方支援の連携体制を構築する。</p> <p>また、ICTを活用した情報共有ツールを用い、入退院時における関係機関の連携をはかる。</p>	<p>【目標】 町内医療、介護関係者に対し、ICTを活用した情報共有ツールの導入</p> <p>⇒【実施結果】 ・ICTを活用した在宅医療介護連携システムを導入した。現在、11事業所の参加によるネットワークを構築、運用している。</p>	<p>【目標】 他府県近隣市の医療機関との情報共有（ツール）について導入を検討</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・前年度に導入したシステムの充実を図る。特に、国保診療所以外の町内医療機関の参画をめざす。</p>	<p>【目標】 他府県近隣市の医療機関との情報共有（ツール）について協議</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・比較的多く利用されている他府県近隣市病院の情報共有方法について協議</p>	<p>【指標】 町内のみならず、近隣病院との情報共有ツールを整備</p>
<p>●在宅医療関係者の行政の会議への参画</p> <p>関係機関の連携体制を構築するため、在宅医療に従事している関係者が市町の連携会議等に参画できるよう、保健所が橋渡し役になり進めていきます。</p>	<p>町内医療機関連絡会議の参画者を増やしつつ、定期に開催し、地域包括ケアに向けた関係機関の連携体制を構築する。</p>	<p>【目標】 引き続き町内医療機関連絡会議を定期に開催し、関係機関の連携体制を深化</p> <p>⇒【実施結果】 ・9/28、3/29に町内医療機関連絡会議を開催し、情報交換を通じて医療介護連携の推進を図った。</p>	<p>【目標】 町内歯科医療機関の連絡会議の定期会議を検討 町内医療機関連絡会議への薬剤師の参画を検討</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・歯科医療機関との調整 ・町内薬局との調整</p>	<p>【目標】 町内医師、歯科医師、薬剤師による医療機関連絡会議 本町における地域包括ケア（特に終末期、看取り等）の意識の共有</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・関係機関（者）との調整 ・看取りについての議論</p>	<p>【指標】 町内医師、歯科医師、薬剤師による医療機関連絡会議の開催</p>
<p>●薬局ネットワーク化の推進</p> <p>24時間365日の在宅医療推進のための薬剤師会を中心とした薬局ネットワーク化の取組みを支援します。</p>	<p>町内には薬局が1件のみのため、医療機関との連携体制を構築する。</p>	<p>【目標】 町内医療機関連絡会議への薬剤師の参画を検討</p> <p>⇒【実施結果】 ・医療機関連絡会議への薬剤師の参画は達成できなかったが、ICTを活用した連携システムに参画してもらい、情報共有を図っている。</p>	<p>【目標】 町内医療機関連絡会議への薬剤師の参画を検討</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・町内薬局との調整</p>	<p>【目標】 医療機関連絡会議に薬剤師の参画 医療機関と薬局とのネットワーク構築</p> <p>⇒【実施予定（内容）】 ・関係機関（者）との調整</p>	<p>【指標】 医療機関連絡会議に薬剤師の参画</p>

【2020年の到達イメージ】豊能圏域版	【到達イメージの実現に必要な作業】	2018年度の目標と取組み	2019年度の目標と取組み	2020年度の目標と取組み	
<p>●住民の生活圏を考慮した広域連携の構築</p> <p>住民の生活圏を考慮し、府外の医療機関との広域連携の構築に努めます、</p>	<p>他府県近隣市の医療機関との広域連携の構築を目指す。</p> <p>比較的多く利用される医療機関と顔の見える関係をつくる。</p> <p>行政域を越えた医療連携に向け、ICTを活用した情報連携ツールを用いる。</p>	<p>【目標】</p> <p>比較的多く利用される医療機関と顔の見える関係の構築を目指す</p> <p>⇒【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他府県近隣市の医療機関で開催される研修会等への参加は、調整がつかず達成できなかった。 	<p>【目標】</p> <p>他府県近隣市の医療機関との情報共有（ツール）について導入を検討</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 比較的多く利用されている他府県近隣市病院の情報共有方法の把握 	<p>【目標】</p> <p>他府県近隣市の医療機関との情報共有（ツール）について協議</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p> <ul style="list-style-type: none"> 比較的多く利用されている他府県近隣市病院の情報共有方法について協議 	<p>【指標】</p> <p>近隣病院との情報共有ツールを整備</p>
	<p>その他、あればお書きください</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p>	<p>【目標】</p> <p>⇒【実施予定（内容）】</p>	<p>【指標】</p>